



吉川小学校だより

オイスカとの交流

23日(火)にオイスカ関西研修生との交流会がありました。コロナ禍においてここ数年できなかった交流がようやく実現しました。フィリピンから5名、マレーシアから1名、計6名の研修生が来てくれました。

全部で3部構成となっており、まず研修生一人ひとりの紹介がありました。その後全員で「にわとりとわしのゲーム」をしました。担任の先生も参加して、追いかける子どもたちはみんな大喜びでした。



次に5,6年生との交流でした。はじめにマレーシアとフィリピンの国紹介がありました。同じアジアの国ですが、使われている言語、食べ物や学校のしくみなど日本とは大きく違うことが分かりました。(フィリピンでは小学校でも留年や飛び級があるそうです…) またある子どもが「マレーシアにはどんな動物がいますか?」と質問し、その答えとしてまずはじめに出てきた動物が**ワニ!**(おおっ…ま南国やし、いるやろな…) 続いてヘビ…ではなく**アナコンダ!**そして最後に**コブラ!**(ス、スケールがでかすぎるっ…) 本校でもハチやマムシに悩まされることはありますが、道を歩いていてアナコンダやコブラに出会うことはまずありません…



最後は2年生との昔遊びです。日本の伝統的な遊びを紹介し、一緒に遊びました。2年生たちが手取り足取りていねいに説明していて、研修生の人たちもとても喜んでいました。



グローバルが進む現在、外国の文化や習慣を知ることとはとても重要であり、学校でもこういった他国の人とのふれあいを継続していきたいと思います。子どもたちにはこのような文化や言語、習慣のちがう人とのコミュニケーションをより多く体験することで、これからの国際社会を生き抜く力を身につけ、大きくはばたいてくれることを切に願います。

児童会行事

児童会が中心となり、児童会行事「神龍まつり」を行いました。毎年、干支にちなんでネーミングし、『ゲームを、縦割り班の友だちと協力し合って楽しむことで、仲間づくりを推進する』『行事を創っていったり、運営したりする力をつける』ことを大切に、児童会行事として行っています。

保健体育委員会も協力しながら、『心の底から楽しく遊ぶ』と目標を決めて、みんなで楽しめる遊びを計画しました。

体育館で開会式を行った後、「もぐらたたき」「コイン落とし」「ボーリング」「玉入れ」の4つのブースに分かれて遊びを楽しみました。

どの遊びも企画を工夫し、児童会や保健体育委員会がしっかりと役割を果たしてみんなを楽しませる姿が見られました。縦割り班でも、高学年が低学年をリードし、ルールがわかりにくい児童に優しく教えるなど、遊びを通して異年齢交流を楽しむ姿がみられました。



